

2021年8月度 定例所長会見 所長所感

- 福島第一原子力発電所の事故により、今もなお、大変多くの皆さまに、ご迷惑とご心配をおかけしておりますことを、あらためまして心よりお詫び申し上げます。
- また、「核物質防護事案」や「安全対策工事の一部未完了」につきまして、地域の皆さまをはじめ、広く社会の皆さまに、大変なご不安をおかけしておりますこと、また、ご不信を与えておりますことについて、改めて深くお詫び申し上げます。
- 本日、私からは2点お話しいたします。

< 1. 新型コロナウイルスの対応状況 >

- はじめに、当発電所における新型コロナウイルスへの対応状況についてです。
- 全国的に感染者が増加傾向にある中、今月に入り、当発電所でも当社社員や協力企業の方々の感染が断続的に発生し、地域の皆さまにご心配をおかけしております。
- また、医療関係の皆さま、保健所など関係機関の皆さまにもご負担をおかけしております。
- このような状況を踏まえ、明日13日から31日までの間、帰省等で新潟県外に移動した当社社員が県内に戻ってくる際には、抗原検査を必ず行い、陰性であることを確認することといたしました。

- 引き続き、当社社員、協力企業が一体となり、感染拡大防止の取り組みを徹底してまいります。

< 2. 地域共生活動について >

- 次に、地域共生活動についてです。
- 昨年度と同様、新型コロナウイルスの影響により、全戸訪問のような活動を行うことが難しい状況が続いています。
- このため、現在は地域の皆さまからご要請をいただいた地域行事などに、感染拡大防止を図りながら参加をさせていただいております。
- このような地域行事には、昨年度は約3割の所員が参加いたしました。
- 今年度は所員の5割が地域共生活動を行うものとしており、これまで延べ300人程度の所員が地域の皆さまと一緒に活動を行っております。
- 具体的な活動例としては、地域のコミュニティセンターと連携した清掃活動や、柏崎港観光交流センター「夕海」のイベントの運営補助などに参加しております。
- このほか、柏崎青年会議所にご協力をいただき、夢の森公園のアジサイロード整備活動を実施しております。
- ここで、これまでの活動を通して、地域の皆さまからいただいたお声を一部紹介いたします。

- 「失った信頼を取り戻すことは大変だが、頑張っている所員の方々を応援している」「大勢の社員が参加し、地域の一員として自覚を持ち、一日も早く信頼を回復して欲しい」「東電と活動が出来て良かった。継続してもらいたい」といったお声を頂戴しております。
- 今後も引き続き、このような活動を通して、所員一人ひとりが、地域の皆さまからのお声をしっかりとお聞きしてまいりたいと考えております。
- 本日、私からは以上です。

以 上